

理事長就任のご挨拶

理事長 谷内 徹

この度、松野完二前理事長の後を受け、平成24年4月1日から理事長に就任いたしました谷内徹です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、横浜市において、法務、福祉、区役所などの行政に携わり、微力ながら市民サービスや福祉の向上に取り組んできました。

平成24年度は、介護保険各サービスの基準並びに報酬の見直しが実施されます。協会でも既存の各事業は見直しに合わせた実施体制の変更、加えて新たに訪問看護事業を実施するなど重要な時期に就任し、身の引きしめる思いです。

前任の松野理事長は、協会の経営状況を改善されるとともに、事業の拡大にも努めてられました。私も、引き続き安定した経営が図れるよう全力で職務に当たってまいります。また、昭和59年から横浜市民の福祉の向上に力を注いできた横浜市福祉サービス協会の歴史を受け継いでいくとともに、さらなる事業の拡大、人材育成にも力を入れ、協会の理念である「お客様の満足」を第一に考え、質の高いサービスを提供できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

前理事長退任のご挨拶

前理事長 松野 完二

藤井紀代子前理事長の後を受けて平成19年4月1日に当協会の理事長に就任し、5年間、理事長を務めさせていただきました。

私が着任した平成19年度は、当協会が横浜市の外郭団体から離れ、一民間法人として経営を自立化させた年でしたが、お客様にも支えていただきながら、様々な改革を進めることで、安定した経営体制を構築するとともに、財務基盤の強化を図ることができました。こうした経営基盤を基として、多くの新規事業を立ち上げ、職員の処遇改善も図ることができたことは喜ばしい限りです。

当協会は「できること、まだまだ。」というスローガンのもと、お客様の生活を支援し、自分たちにできることを探し続ける熱意ある職員によって支えられています。新理事長の下でも、お客様の満足のために、大きな発展を遂げてくれるものと確信しています。

末筆ながら、皆様方のますますのご多幸と、協会のますますの発展を祈念申し上げます。理事長退任のご挨拶とさせていただきます。

知って楽になる介護の話 第13回 ～ 移乗⑤編 ～

今回も、ベッドから車いすなどへ移乗するときの、移乗介助をご紹介します。この方法は、上半身のバランスが悪く、前方へ崩れ落ちる可能性がある方の移乗介助に適しています。



① 要介護者の足の裏を床につけます。介助する人は椅子に座り、車いす（写真では椅子）と要介護者の足の外側に、自分の足を広げて置きます。



② 介助する人はお尻を浮かせた状態で要介護者の脇の下に入り、両手でお尻を支えます。



③ 介助する人がお尻を浮かせた状態から椅子に座ると要介護者のお尻が浮いてくるので、移動する方向へ誘導します。



④ ベッドから車いす（写真では椅子）へ移動させます。

<右下のポイント図解へ>



⑤ 着座してもらいます。

